

DRUG



INFORMATION

2008 No. 28

平成20年12月5日発行

1. 医薬品の採用・中止・変更について 1
—平成20年12月4日 薬事委員会結果報告—
2. 新規採用医薬品添付文書情報..... 4

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室
(内線7083)

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/web/drug-info/>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@gifu-u.ac.jp (担当：安田)

新規採用(試用開始)医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類	会社名
イリボー錠 5μg(ラモセトロン塩酸塩)	下痢型過敏性腸症候群治療剤	アステラス
グラセプターカプセル 1mg(タクロリムス水和物)	免疫抑制剤	アステラス
グラセプターカプセル 5mg(タクロリムス水和物)	免疫抑制剤	アステラス
アドエア 100 ディスカス〔60 ブリスター〕 (サルメテロールキシナホ酸塩、フルチカゾンプロピオン酸エステル)	喘息治療配合剤	GSK
ミオコールスプレー0.3mg(ニトログリセリン)	定量噴霧式・ニトログリセリン舌下スプレー剤	トーアエイヨー
ロキソニンテープ 50mg(ロキソプロフェンナトリウム水和物)	経皮吸収型鎮痛・抗炎症剤	第一三共
アトワゴリバース静注シリンジ 6mL (ネオスチグミンメチル硫酸塩、アトロピン硫酸塩水和物)	副交感神経興奮剤	テルモ
シナジス筋注用 50mg(パリビズマブ)	抗 RS ウイルスヒト化モノクローナル抗体	アボット
シナジス筋注用 100mg(パリビズマブ)	抗 RS ウイルスヒト化モノクローナル抗体	アボット
ゾシン静注用 2.25(タゾバクタムナトリウム、ピペラシリンナトリウム)	β-ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質製剤	大正富山
ゾシン静注用 4.5(タゾバクタムナトリウム、ピペラシリンナトリウム)	β-ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質製剤	大正富山
ポプスカイン 0.75%注 150mg/20mL(塩酸レボブピバカイン)	長時間作用性局所麻酔剤	丸石

平成 20 年 12 月 16 日より処方開始予定です。

採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類	会社名
ケテック錠 300mg(テリスロマイシン)	ケトライド系経口抗菌剤	サノフィ・アベンティス
ツムラ小柴胡湯エキス顆粒	漢方製剤	ツムラ
ミニプレス錠 1mg(ブラゾシン塩酸塩)	高血圧・排尿障害治療剤	ファイザー
メジコンシロップ (デキストロトルファン臭化水素酸塩水和物、クレゾールスルホン酸カリウム)	鎮咳去痰剤	塩野義
アミカリック輸液 500mL	アミノ酸加総合電解質液	テルモ
ガスエそ抗毒素「チバ」5000 単位(ガスエそウマ抗毒素)	抗毒素類	千葉血清
タゾシン静注用 1.25g(タゾバクタムナトリウム、ピペラシリンナトリウム)	β-ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質製剤	大正富山
タゾシン静注用 2.5g(タゾバクタムナトリウム、ピペラシリンナトリウム)	β-ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質製剤	大正富山
日赤ポリグロビンN注 5%(人免疫グロブリン)	血漿分画製剤	バイエル
ワゴスチグミン注 0.5mg(ネオスチグミンメチル硫酸塩)	副交感神経興奮剤	塩野義

院内在庫がなくなり次第、処方中止とします。

製剤変更医薬品

医薬品名	薬品分類	会社名
アクトス錠 30mg ⇒ アクトス錠 15mg	インスリン抵抗性改善剤	武田
アマリール 3mg 錠 ⇒ アマリール 1mg 錠	スルホニルウレア系経口血糖降下剤	サノフィ・アベンティス
ノルバスク錠 5mg ⇒ ノルバスク OD 錠 5mg	持続性 Ca 拮抗薬	ファイザー
アドエア 250 ディスカス [28 プリスター] ⇒ [60 プリスター]	喘息治療配合剤	GSK
アドエア 500 ディスカス [28 プリスター] ⇒ [60 プリスター]	喘息治療配合剤	GSK
ユリーフカプセル 2mg ⇒ ユリーフ錠 2mg*	選択的 α_{1A} 遮断薬	キッセイ
ユリーフカプセル 4mg ⇒ ユリーフ錠 4mg	選択的 α_{1A} 遮断薬	キッセイ
メナミン筋注 50mg ⇒ カピステン筋注 50mg	鎮痛・解熱・抗炎症剤	キッセイ

旧製剤の在庫がなくなり次第、製剤変更とします。

※ 院外専用品：4mg 錠と同時期に変更します。

名称変更医薬品

医薬品名	薬品分類	会社名
ノボラピッド注 300 ⇒ ノボラピッド注ペンフィル	インスリン製剤	ノボルディスク
ノボラピッド注 300 フレックスペン ⇒ ノボラピッド注フレックスペン	インスリン製剤	ノボルディスク
ノボラピッド 30 ミックス注 ⇒ ノボラピッド 30 ミックス注ペンフィル	インスリン製剤	ノボルディスク
ペンフィル N 注 300 ⇒ ペンフィル N 注	インスリン製剤	ノボルディスク
ペンフィル R 注 300 ⇒ ペンフィル R 注	インスリン製剤	ノボルディスク
ペンフィル 30R 注 300 ⇒ ペンフィル 30R 注	インスリン製剤	ノボルディスク
ペンフィル 50R 注 300 ⇒ ペンフィル 50R 注	インスリン製剤	ノボルディスク
レベミル注 300 フレックスペン ⇒ レベミル注フレックスペン	インスリン製剤	ノボルディスク
ヒューマカート R 注 ⇒ ヒューマリン R 注カート	インスリン製剤	イーライ・リリー
ヒューマカート R 注(キット) ⇒ ヒューマリン R 注キット	インスリン製剤	イーライ・リリー
ヒューマリン R 注 U-100 ⇒ ヒューマリン R 注 100 単位/mL	インスリン製剤	イーライ・リリー
ヒューマカート N 注 ⇒ ヒューマリン N 注カート	インスリン製剤	イーライ・リリー
ヒューマカート N 注(キット) ⇒ ヒューマリン N 注キット	インスリン製剤	イーライ・リリー
ヒューマリン N 注 U-100 ⇒ ヒューマリン N 注 100 単位/mL	インスリン製剤	イーライ・リリー
ヒューマカート 3/7 注 ⇒ ヒューマリン 3/7 注カート	インスリン製剤	イーライ・リリー
ヒューマカート 3/7 注(キット) ⇒ ヒューマリン 3/7 注キット	インスリン製剤	イーライ・リリー
ヒューマログ注バイアル 100 単位/mL ⇒ ヒューマログ注 100 単位/mL	インスリン製剤	イーライ・リリー
ランタス注カート 300 ⇒ ランタス注カート	インスリン製剤	サノフィ・アベンティス

販売中止医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類	会社名
【院内採用分】		
エレース末(フィブリノリジン、デオキシリボヌクレアーゼ)	線維素溶解酵素剤	第一三共
【院外専用分】		
アスゲン錠(合剤)	鎮咳剤	アスゲン
アビショット錠 25mg(ナフトピジル)	前立腺肥大に伴う排尿障害改善剤	シェリング・プラウ
アビショット錠 50mg(ナフトピジル)	前立腺肥大に伴う排尿障害改善剤	シェリング・プラウ
オルヂス SR カプセル 150mg(ケトプロフェン)	pH 作動型鎮痛・消炎剤	アボット
スパントール錠 200mg(フェンプロバメート)	有痛性痙縮治療剤	ケミファ
ガストロピロール末(子ヒツジ胃粘膜抽出物、シアノコバラミン)	健胃消化剤	興和
ルバトレン錠 5mg(塩酸モペロン)	精神安定剤	アステラス
チマバック点眼液 0.5%*(チモロールマレイン酸塩)	緑内障・高眼圧症治療剤	日本点眼薬
メナミン坐剤 75mg(ケトプロフェン)	抗炎症・鎮痛・解熱剤	サノフィ・アベンティス

【院内採用分】 在庫がなくなり次第、処方中止とします。

【院外専用分】 平成 21 年 3 月 31 日付で処方中止とします。

(※:同等の製剤が薬価収載されてから中止とします)。

*ラモセトロン塩酸塩 Ramosetron Hydrochloride

【商】イリボー Iribow アステラス

内用：錠剤^㉟ 1錠中 5 μ g [141.1 円/錠]

【効】男性における下痢型過敏性腸症候群

【用】5 μ g を 1 日 1 回投与する。1 日最高投与量は 10 μ g までとする。

【副】ショック、アナフィラキシー様症状、虚血性大腸炎、重篤な便秘

【低・新・乳・幼・小】未確立

*タクロリムス水和物 Tacrolimus Hydrate

【商】グラセプター Graceptor アステラス

内用：カプセル剤(徐放性)^㉟

1 カプセル中 1mg [905.2 円/Cp]

5mg [3,361.1 円/Cp]

【効】**①**下記の臓器移植における拒絶反応の抑制：(1)腎移植、(2)肝移植、(3)心移植、(4)肺移植、(5)膵移植 **②**骨髄移植における拒絶反応及び移植片対宿主病の抑制

【用】**①**(1)移植 2 日前より 0.15~0.2mg/kg を 1 日 1 回朝投与する。以後、症状に応じて適宜増減する。(2)術後初期には 0.1~0.15mg/kg を 1 日 1 回朝投与する。以後、症状に応じて適宜増減する。〔プログラフ経口製剤から切り替える場合〕**①②**同一 1 日用量を 1 日 1 回朝投与する。

【警】◆本剤の投与において、重篤な副作用(腎不全、心不全、感染症、全身痙攣、意識障害、脳梗塞、血栓性微小血管障害、汎血球減少症等)により、致命的な経過をたどることがあるので、緊急時に十分に措置できる医療施設及び本剤についての十分な知識と経験を有する医師が使用すること。◆臓器移植における本剤の投与は、免疫抑制療法及び移植患者の管理に精通している医師又はその指導のもとで行うこと。◆本剤と同一成分を含むプログラフ経口製剤と本剤の切り換えに際しては、血中濃度を測定することにより製剤による血中濃度の変動がないことを確認すること。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、シクロスポリン又はボセンタン投与中の患者、カリウム保持性利尿剤投与中の患者、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

【副】急性腎不全、ネフローゼ症候群、心不全、不整脈、心筋梗塞、狭心症、心膜液貯留、心筋障害、中枢神経系障害、脳血管障害、血栓性微小血管障害、汎血球減少症、血小板減少性紫斑病、イレウス、Stevens-Johnson 症候群、呼吸困難、感染症、リンパ腫等の悪性腫瘍、膵炎、糖尿病、高血糖

【妊】禁忌

【授】授乳回避

【小】**①**(1)(3)(4)(5)・**②**未確立

【商】アドエア<ディスクス> Adoair GSK

外用：吸入剤(ドライパウダー)

1 個 60 ブリスター

(1 ブリスター中サルメテロールキシナホ酸 50 μ g、フルチカゾンプロピオン酸エステル 100 μ g)

[6,316.9 円/キット]

【効】気管支喘息(吸入ステロイド剤及び長時間作動型吸入 β_2 刺激剤の併用が必要な場合)

【用】100 ディスクス 1 吸入を 1 日 2 回吸入投与する。症状に応じて 250 ディスクス 1 吸入又は 500 ディスクス 1 吸入を 1 日 2 回吸入投与する。

【禁】有効な抗菌剤の存在しない感染症・深在性真菌症の患者、本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者

【副】ショック、アナフィラキシー様症状、重篤な血清カリウム値の低下*

【妊】有益のみ

【授】授乳中止

【小】未確立

*ニトログリセリン Nitroglycerin

【商】ミオコール Myocor トーアエイヨー

外用：スプレー剤^㉟

1 本(7.2g)中 46.8mg (1 噴霧 0.3mg)

[2,123.4 円/缶]

【効】狭心症発作の寛解

【用】1 回 1 噴霧(0.3mg)を舌下に投与する。効果不十分の場合は 1 噴霧を追加投与する。

【禁】重篤な低血圧又は心原性ショックのある患者、閉塞隅角緑内障の患者、頭部外傷又は脳出血のある患者、高度な貧血のある患者、硝

酸・亜硝酸エステル系薬剤に対し過敏症の既往歴のある患者、ホスホジエステラーゼ 5 阻害作用を有する薬剤(シルデナフィルクエン酸塩、バルデナフィル塩酸塩水和物、タダラフィル)を投与中の患者

【妊】未確立、有益のみ

【授】授乳中止

*ロキソプロフェンナトリウム水和物

Loxoprofen Sodium Hydrate

【商】ロキソニン Loxonin 第一三共

外用：テープ剤 1 枚(7×10cm)中 50mg

[33 円/枚]

【効】下記疾患並びに症状の消炎・鎮痛：変形性関節症、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛

【用】1 日 1 回、患部に貼付する。

【禁】本剤の成分に過敏症の既往歴のある患者、アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)又はその既往歴のある患者

【妊】未確立、有益のみ

【低・新・乳・幼・小】未確立

【貯】遮光

【商】アトワゴリバース AtvagoReverse テルモ
注射：液剤(Ⓢ) 1 筒(6mL)中ネオスチグミンメチル硫酸塩 2mg、アトロピン硫酸塩水和物 1mg

[615 円/筒]

【効】非脱分極性筋弛緩剤の作用の拮抗

【用】1 回 1.5~6mL を緩徐に静注する。

【警】非脱分極性筋弛緩剤の作用の拮抗に本剤を静脈内注射するにあたっては、緊急時に十分対応できる医療施設において、本剤の作用及び使用法について熟知した医師のみが使用すること。

【禁】消化管又は尿路の器質的閉塞のある患者、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、迷走神経緊張症の患者、脱分極性筋弛緩剤(スキサメトニウム)を投与中の患者、緑内障の患者、前立腺肥大による排尿障害のある患者、麻痺性イレウスの患者

【副】コリン作動性クリーゼ、不整脈、ショック、アナフィラキシー様症状

【妊】未確立、原則禁忌

【授】原則禁忌

【小】未確立

*パリビズマブ Palivizumab

【商】シナジス Synagis アボット

注射：1 瓶中 50mg [76,987 円/瓶]

100mg [152,755 円/瓶]

【効】下記の新生児・乳児及び幼児における RS ウイルス(Respiratory Syncytial Virus)感染による重篤な下気道疾患の発症抑制：(RS ウイルス感染流行初期において)在胎期間 28 週以下の早産で 12 ヶ月齢以下の新生児及び乳児、在胎期間 29 週~35 週の早産で 6 ヶ月齢以下の新生児及び乳児、過去 6 ヶ月以内に気管支肺異形成症(BPD)の治療を受けた 24 ヶ月齢以下の新生児・乳児及び幼児、24 ヶ月齢以下の血行動態に異常のある先天性心疾患(CHD)の新生児・乳児及び幼児

【用】15mg/kg を RS ウイルス流行期を通して月 1 回筋注する。注射量が 1mL を超える場合には分割し投与する。

【禁】本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者

【副】ショック、アナフィラキシー様症状

【貯】2~8℃

【商】ゾシン Zosyn 大正富山

注射：1 瓶(2.25g・4.5g)中タゾバクタムナトリウム 0.25g・0.5g、ピペラシリンナトリウム 2g・4g

[1,792 円/瓶・2,668 円/瓶]

【効】①敗血症、肺炎 ②腎盂腎炎、複雑性膀胱炎

【用】①成人には 1 回 4.5g を 1 日 3 回点滴静注する。肺炎の場合、1 日 4 回に増量できる。必要に応じて、静注することもできる。小児には 1 回 112.5mg/kg を 1 日 3 回点滴静注する。必要に応じて、静注することもできる。1 回投与量の上限は成人における 1 回 4.5g を超えないものとする。②成人には 1 回 4.5g を 1 日 2 回点滴静注する。1 日 3 回に増量できる。必要に応じて、静注することもできる。小児には 1 回 112.5mg/kg を 1 日 2 回点滴静注する。必要に応じて、静注することもできる。1 日 3 回に増量できる。1 回投与量の上限は成人における 1 回 4.5g を超えないものとする。

【禁】本剤の成分又はペニシリン系抗生物質に対し過敏症の既往歴のある患者、伝染性単核球症の患者

【副】ショック、アナフィラキシー様症状、

Lyell 症候群、Stevens-Johnson 症候群、劇症肝炎、肝機能障害、黄疸、急性腎不全、間質性腎炎、汎血球減少症、無顆粒球症、血小板減少症、溶血性貧血、偽膜性大腸炎、間質性肺炎、PIE 症候群、横紋筋融解症

【妊】未確立、有益のみ

【授】授乳中止

【低・新】未確立

【乳・幼】2歳未満：慎重

*塩酸レボブピバカイン

Levobupivacaine Hydrochloride

【商】ポプスカイン 丸石

注射：液剤(罎) 1管(20mL)中 150mg

[1,161 円/管]

【効】硬膜外麻酔

【用】1回 150mg までを硬膜外腔に投与する。

【禁】大量出血やショック状態の患者、注射部位又はその周辺に炎症のある患者、敗血症の患者、本剤の成分又はアミド型局所麻酔剤に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】ショック、意識障害、振戦、痙攣、異常感覚、知覚・運動障害

【妊】未確立、有益のみ、妊娠後期：慎重

【小】未確立